

# 米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く 185

## 描かれた醒井宿のすがた

### 「江龍典礼家文書」の調査成果2

#### 描かれた醒井宿のすがた

今回は、昨年の広報まいばら11月号「米原歴史街道・古文書からみる醒井宿」で取り上げた「江龍典礼家文書」の調査成果の続きとして、現在、醒井宿資料館で展示している絵図資料についてご紹介します。

「江龍典礼家文書」は、その資料のほとんどが書状や帳面などで占められていますが、絵図や地図などの資料も含まれていました。

まず、ご紹介するのは「加茂社地図」（写真1）です。この絵図は、中山道を「地藏堂」から「加茂大明神社」にかけて、俯瞰で描かれています。「加茂社」「加茂大明神社」とは、現在も醒井にある加茂神社のことです。絵図には、日本武尊の伝説がある「居醒の清水」に「腰掛石」「鞍掛石」「蟹石」と「紫石灯籠」が描かれています。

加茂神社は、現在の位置からやや東よりに描かれています。これは昭和35年の名神高速道路の建設に伴い、境内が高速道路の用地となったために、現在地に移転したものです。この絵図は作成年代が書かれていませんが、明治時代初めごろと思われる。



(写真1) 居醒の清水を描いた「加茂社地図」

加茂神社や居醒の清水のほか、中山道沿いに建つわらぶきの家の様子も分かり、何より彩色がされていることで、当時の雰囲気は今に伝えてくれる重要な資料といえます。

#### 大名が泊まった本陣の間取り

本陣は、大名や公家、幕府の役人など身分の高い人物が旅行の途中で休憩・宿泊するための施設で、街道の各宿場町に設置されていました。

醒井宿の本陣は、地藏川に面しており、「醒井宿旧問屋場」の東隣の位置にありました。

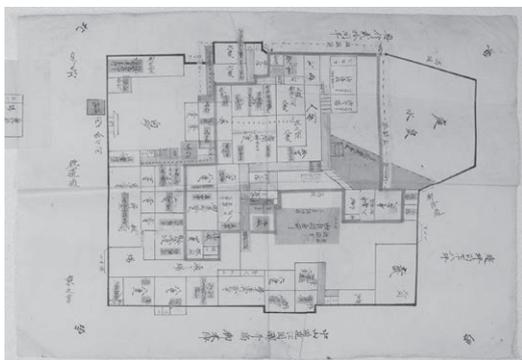
本陣は、建坪178坪あり、白洲が敷かれた専用の玄関や8畳ある上段の間、奥には池を伴う庭が作られていました。庭は、上段の間の縁側に面していることから、宿泊した大名らが旅の慰めにしていたと想像できます。

醒井宿本陣の間取り図（写真2）には、貼り紙が付けられ、「老女衆」や「京女中」の文字があります。いつ、だれが宿泊したのかは不明ですが、京都の公家関係の行列ではないかと思われま。

これらの古文書のほかに、江戸時代後期に彦根藩の彦根から江戸までの路程、行列の参加者がまとめられた資料も展示しています。大名行列も通り、宿泊した醒井宿ならではの資料といえます。

この機会に、醒井宿資料館と醒井宿を訪れてみてはいかがでしょうか。

（生涯学習課文化財保存活用推進室）



(写真2) 醒井宿本陣の間取り図

## 消費生活相談コーナー

### 新生活スタート前のトラブルに注意しましょう

引っ越しや家の整理で出た不用品回収を業者に依頼したところ、高額な料金を請求された。



#### 消費生活相談員より一言

一般家庭から出る不用品回収を依頼するときは、一般廃棄物収集業の許可業者または市の委託業者に依頼し、事前に見積りを取りましょう。また、マンション等の退去費用については、国土交通省「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」を参考に、賃貸人からの説明を受けましょう。

「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)  
相談専用 ☎53-5110  
(受付) 平日 9時30分～16時

## 米原警察署情報

米原警察署 ☎52-0110

### 二セ警察官による特殊詐欺事件にご用心

滋賀県警察を騙る者から「キャッシュカードが使えなくなっている」と電話があり、自宅に訪れた二セ警察官がキャッシュカードを別物にすり替えて盗む事件が発生しました。警察官がキャッシュカードを預かったり、送金を指示したり、SNSで連絡を取ることはありません。警察を騙る不審な電話があったら、すぐに電話を切って米原警察署にご連絡ください。



#### 令和8年市内交通事故数(1月末時点)

件数	7件(+1件)	死者	0人(±0人)
傷者	10人(+4人)	※( )内は前年比	